

「第20回 全日本小学生・中学生書道紙上展」に出品

昨年に引き続き今年も全日本小学生・中学生書道紙上展に出品いたしました。

この展覧会は、公益社団法人日本書芸院、読売新聞社が主催し、小学生・中学生の書写書道の技術向上を図り、書道を通してより豊かな人間形成に役立てることを目的とした展覧会です。

作品の紙はとても大きく、長半紙（八つ切り）の4倍の半切（はんせつ）（約135cm×ヨ34.5cm）サイズ、大きな筆に墨をたっぷりと含ませ勢いよくかつ美しく、名前も本文と調和するよう意識を高めて書いていきます。

審査は、全作品から各学年の優秀作品より「ベスト100」「準ベスト50」が選出され、選ばれた方には認定証や図書カード（ベスト100）、日本書芸院発行の小中展新聞に作品等が掲載されます。また、入賞者には各学校長宛に結果通知も郵送されます。

この展覧会の結果発表が9月30日、日本書芸院のホームページに掲載されました。

今回の小中展は、全国から13,187点の出品。

私どもは、これまでの書道展において上位入賞した受講生や有段者、JAコンクールで半切作品に取り組んだ受講生を中心に、前回より32名増の65名が出品いたしました。

大変喜ばしいことに、

「ベスト100」に8名（小2-1名、小3-1名、小4-2名、小5-1名、小6-1名、中1-1名、中3-1名）
「準ベスト50」に1名（中3-1名）、合計9名が選出されました。

今回の結果を受けて、指導者一同、心よりうれしく誇らしい気持ちでいます。

今年新たに設けました、希望者を対象とした集中練習会はすべて満席となる盛況で、限られた時間の中、よりよい作品になるよう指導する私たちも熱い思いを持って取り組みました。

集中練習会に参加した生徒からは、

半切の紙や筆をみて「ぼくの身長より大きい。何この筆、すごい太い、ちょっと重い。」

「いつも使ってる大筆で名前書くのははじめて。」

「先生、楽しかった！また書きたい!!」等々、感じたことや思ったことを話してくれました。

こどもたちが様々なことに興味を持ち、挑戦する気持ちを大切にすること。そして実践する過程での気付き・考え・知ることがこどもたちが持つ可能性を伸ばす力になると信じ、これからも微力ながらサポートしていきたいと考えます。

パソコン、スマホ、タブレット等デジタル社会の今、

大人もこどもも、「手書き文字」に触れる機会の大切さを今一度振り返って身近に取り入れてほしいと願います。

入賞されたみなさん、おめでとうございます。残念ながら今回は入賞に至らなかったみなさん、

「継続は力なり」です。来年も一緒にチャレンジしましょう。

保護者の皆様、平素は書写・書道教育にご理解いただきまして誠にありがとうございます。

これからもお子さまの成長していく姿をあたたく見守っていきましょう。

結果発表等詳細につきましては、

日本書芸院のホームページ<<https://www.nihonshogeiin.or.jp/>>をご覧ください。